

平成28年度 事業報告

公益目的事業

I. 環境整備等助成事業

1 顕彰事業

長年にわたる修養により伝統伎芸の保存継承や発展に功績があり、伎芸の向上に努めている60歳以上の芸妓を「伝統伎芸保持者」として認定した。

(審査委員会で審査)

平成28年度伝統伎芸保持者 2名

歌舞会	芸名	氏名	芸歴
祇園甲部	こ ^{まん} 小萬	西畑 ゆかり	41年
上七軒	な ^お 尚 ^こ 子	奥 尚子	53年

認定式：平成29年6月8日、於：京都ホテルオークラ

※平成8年度から実施。平成27年度までの保持者数53名。

2 伎芸奨励事業

(1) 伎芸奨励事業

伝統伎芸従事者の更なる活動と後継者の育成を奨励するため、65歳以上の経験豊かな芸妓に対し、伎芸に必要な道具の購入費や、伎芸取得に必要な研修費等に活用してもらうための伎芸奨励金を支給した。(審査委員会で審査)

	65歳以上	70歳以上	80歳以上	合計
奨励金	8万円	10万円	13万円	
奨励者数	8名	18名	12名	38名

(2) 芸妓支援事業

伝統伎芸を保存継承し後継者育成に資するため、若手の芸妓の支援策として、独立してから5年未満の芸妓や独立する6ヶ月前の芸妓に対し、伎芸に用いる衣裳や帯などの新調に際しての補助を行った。(審査委員会で審査)

歌舞会名	人数
祇園甲部	2名
宮川町	2名
先斗町	1名
祇園東	2名
合計	7名

(3) 衣裳等貸与事業

各花街の伝統伎芸を保存継承するため、「をどりの発表会」等を開催する歌舞会に対し、発表会等に用いる着物や帯を制作し、貸与を行った。

28年度に制作した着物等	貸与する歌舞会	使用される発表会
舞妓用裾引き 10着 帯 10本	宮川町	第68回 京おどり (平成29年4月1日～16日)
舞妓用裾引き 8着 お囃子用黒紋付 8着	先斗町	第180回記念 鴨川をどり (平成29年5月1日～24日)

3 伎芸研修等助成

伝統伎芸の保存継承を図るため、各歌舞会の学校や財団が行う研修事業、楽器の新調・補修に対して各歌舞会に助成を行った。(審査委員会で審査)

助成実績：三味線の補修・太鼓等購入など

4 舞台発表会助成

各歌舞会の秋のをどりの会等に対して助成を行い、伝統伎芸の向上を図った。
(審査委員会で審査)

5 伝統行事参加助成

祇園祭花傘巡行、時代祭など京都の代表的な伝統行事への参加に対して各花街に助成を行った。(審査委員会で審査)

参加行事：祇園祭花傘巡行、時代祭、献茶祭、梅花祭など

6 研修事業

芸妓舞妓の資質の向上を図り、教養を身につけるため、京都の歴史、文化等について学ぶ研修会を実施した。28年度は、皇室にゆかりある泉涌寺や1000体の千手観音像が立ち並ぶ三十三間堂を見学し、また、清水焼の名店朝日堂では、湯呑の絵付け体験を行い、日本文化への知識を深めた。

実施日 平成29年1月24日（火）

訪問箇所 泉涌寺、三十三間堂、朝日堂

参加者 65名（芸妓17名 舞妓34名、仕込み5名、その他9名）



三十三間堂で講和を聴く芸舞妓



朝日堂で湯呑に絵付け体験をする芸舞妓

7 舞妓の故郷帰り支援事業

舞妓の伎芸の向上や京都の伝統伎芸の魅力を発信するため、舞妓姿で地元の成人式に参加し、舞を披露する舞妓の支援を行った。

舞 妓	歌舞会名	日にち・会場	
きよの 清乃	祇園甲部	1月8日（日）	長崎県佐世保市
たか 多香	先斗町	1月8日（日）	熊本県上益城郡
いちなな 市奈菜	先斗町	1月9日（月・祝）	滋賀県大津市



清乃（長崎県佐世保市）



市奈菜（滋賀県大津市）



多香（熊本県上益城郡）

8 環境整備事業

花街の文化や伝統伎芸、花街の環境を保存・継承していくため、伎芸の発表のみならず、日頃の研鑽の場である歌舞練場などの改築・改修に対して助成を行った。

(審査委員会で審査)

歌舞会名	修復箇所等
祇園甲部	弥栄会館（一部）の耐震補強工事
宮川町	歌舞練場及び稽古場の屋根の補修工事
先斗町	歌舞練場エレベーターピット内における漏水修復工事
上七軒	・ 検番棟の稽古部屋の改修工事 ・ 歌舞練場庭園の排水工事・景観整備

【審査委員会】

開催日：6月3日（金）・12月21日（水）

審査委員：理事 渡邊 隆夫

評議員 佐竹 力総

外部委員 大野木 啓人（京都造形大学副学長）

外部委員 栗山 圭子（京都新聞社文化部編集委員兼論説委員）

外部委員 甲津 功夫（大阪大学名誉教授）※環境整備事業のみ審査

9 祇園小唄祭事業

昭和の名曲で五花街にゆかりのある『祇園小唄』に感謝するため、「祇園小唄祭」を実施した。

実施日 平成28年11月23日（水・祝）

会場 円山公園 祇園小唄石碑前

参加者 財団・花街関係者6名、舞妓2名、観覧客約200名

II. 五花街合同公演事業

五花街の芸舞妓の日頃の研鑽の発表の場として、各歌舞会の舞踊と五花街の舞妓20名が一堂に会して舞を披露する舞踊公演「第23回京都五花街合同公演 都の賑い」を開催し、全国の花街ファンをはじめ、多くの人々に京都の伝統伎芸を広く紹介し、愛好者の拡大に努めた。

実施日 6月25日（土）・26日（日）

場所 祇園甲部歌舞練場

出演者 合計80名（芸妓60名、舞妓20名）

観客数 3,038名

Ⅲ. ギオンコーナー事業（対象 外国人・修学旅行生）

日本の伝統文化である京舞・茶道・華道・箏曲・雅楽・狂言・文楽を気軽に鑑賞出来る施設としてギオンコーナーを運営した。

また、外国人観光客や修学旅行生の誘客を一層図るため、期間限定割引の実施や割引券の配布、ホームページによる広報等を積極的に進めた。

なお、12月からギオンコーナーの改修工事を実施したため、改修期間中は同敷地内の八坂倶楽部で仮設舞台を設置し、演目を一部変更して公演を行った。

（演目：尺八、茶道、箏曲、雅楽、狂言、京舞）

	公演日数	入場者数	外国人	修学旅行生	日本人(修学旅行生除く)
平成28年度	294日	79,277名	52,997名	41校 2,084名	24,196名
平成27年度	305日	81,241名	52,545名	44校 2,523名	26,173名

1 プログラムの配布

日本語をはじめ、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、簡体字(中国本土)、繁体字、韓国語の11ヶ国語のプログラムを入場者に配布した。

日本語	英語	簡体字	フランス語	スペイン語	イタリア語
26,280名 (33.1%)	23,348名 (29.5%)	13,061名 (16.5%)	4,268名 (5.4%)	4,193名 (5.3%)	2,485名 (3.1%)
ドイツ語	繁体字	ロシア語	ポルトガル語	韓国語	合計
1,593名 (2.0%)	1,495名 (1.9%)	1,230名 (1.6%)	660名 (0.8%)	664名 (0.8%)	79,277名

2 インターネットなどによる広報

※**その他事業**の「Ⅱ. ギオンコーナー改修」の「(5) Webコンテンツの充実」に記載。

3 修学旅行の誘致

リーフレットを全国の旅行会社や各都道府県及び市町村教育委員会に送り、修学旅行の更なる誘致に努めた。

配布箇所 旅行会社 約 750 箇所、教育委員会約 1,800 箇所

4 外国人観光客の誘致

観光案内施設や京都市内のホテル、旅館、お土産店等に入場割引券や期間限定の割引券を配布し、さらなる来場者の誘致を図るとともに、京都総合観光案内所（京都駅）においては、前売券の販売も行った。

【割引券】 配布先：観光施設約 10 箇所、ホテル約 50 箇所、旅館約 150 箇所、お土産店・飲食店等約 50 箇所

	実施期間	割引料金	配布枚数	利用人数
入場割引	4月～6月、3月	2,800円	30万枚	6,301名
期間限定割引	7月～2月	2,500円	15万枚	20,937名

【前売券】

販売期間	料 金	購入者数
7月～2月	大人 2,500円	655名
	学生 2,200円	22名
	小人 1,900円	18名

IV. 受託事業等（派遣事業）

行政や関係団体からの依頼に基づき芸妓舞妓の派遣を行い、イベントの会場や海外からの賓客等に対して伝統伎芸を通じて日本文化を発信した。

派遣を行った主なイベント	実 施 日
迎賓館におけるレセプション ・ハンガリー国会議長への接遇 ・アルメニア共和国国民議会議長への接遇 ・オマーン国諮問議会議長への接遇	5月14日 2月 1日 3月16日
第40回全国育樹祭	10月9日
スポーツ文化ワールドフォーラム	10月19日
お茶の京都博 プレ告知イベント	11月3日
京料理展示大会	12月13日・14日
東アジア文化都市2017オープニングイベント	2月18日
京都東山花灯路	3月3・4・10・11・12日

V. 広 報 事 業

1 ホームページやツイッターを通じての情報発信

ホームページやツイッターを通じて事業の告知や花街の行事についての情報発信やギオンコーナーの PR を行った。

2 五花街の「をどりの会」の啓発

五花街の各歌舞会が実施する春秋の「をどりの会」について、友の会会報誌への掲載やギオンコーナーのエントランスでのポスターの掲示、パンフレットの配布等を行うとともに、私鉄や金融機関などの協力を得てPRに積極的に取り組んだ。

3 ギオンコーナーエントランスショーケースでの情報発信

※その他事業の「Ⅱ. ギオンコーナー改修」の「(3) ギャラリーの充実」に記載

4 広報等充実事業

(1) 広報充実事業

広報活動の活性化や、「をどりの会」の参加者の更なる誘致を図るため、歌舞会の広報活動の支援を行った。(審査委員会で審査)

歌舞会名	内 容
祇園東	ホームページのリニューアル及びスマホ対応サイトの作成

(2) 千社札による発信事業 (新 規)

京都の五花街の文化の発信や国内外の観光客の誘致に繋がる催し及び国内外の賓客の接遇などの機会に配布するため、芸舞妓に千社札を贈呈した。
被贈呈者数：236名



(3) 花街情報誌「京都花街」の発行 (新 規)

花街文化の発信や各花街の「をどりの会」への誘客を図るため、花街情報誌「京都花街」の創刊号を発行した。創刊号では、日英併記で五花街の紹介や「花街はんなり香話」と題し、花街と舞妓さんの起源などを掲載した。また、京都新聞(3月5日朝刊)では、春のをどりをテーマにした記事の掲載も行った。

発 行 日：平成29年3月5日(日)

配布先及び配布部数：首都圏(東京メトロ138駅) 1,000,000部
神戸新聞 神戸・明石版、阪神版南部 233,000部
京都総合観光案内所・市内ホテル等 50,000部

収 益 事 業

I. ギオンコーナー事業（対象 一般観光客）

再掲（公益目的事業に記載）

II. 五花街の夕べ事業

五花街合同公演の後、有名料亭や旅館、ホテルに席を移し、料理を賞味しながら芸舞妓の舞などを楽しんで頂く「五花街の夕べ」を開催した。

実施日	会 場	参加者数	出演者数
6月25日（土）	瓢亭・菊乃井・岡崎つる家・柊家・炭屋	199名	芸妓：10名 舞妓：8名
6月26日（日）	ANAクラウンプラザホテル京都	120名	芸妓：4名 舞妓：10名
合 計		319名	芸妓：14名 舞妓：18名

III. 物販事業

ギオンコーナーの売店で、五花街を紹介した書籍や京扇子、うちわなど京都ならではの伝統工芸品の販売を行うとともに、五花街合同公演では演目や出演の芸舞妓を掲載したプログラムや財団創立20周年記念誌を販売した。

IV. 友の会事業

1 友の会事業

財団の活動支援や、伝統伎芸愛好者の裾野の拡大を目的に友の会を運営した。春秋恒例の各花街の「をどりの会」や五花街合同公演の招待、芸舞妓写真撮影会、友の会の集い「おおきにパーティー」の開催や、お茶屋の紹介・舞妓派遣等を行った。

また、会報誌“はんなり”を発行し、会員をはじめ五花街の各組合や関係機関に配布し、情報提供を行った。（友の会会員数 319名 3月末現在）

（1）写真撮影会

実施日 平成28年9月25日（日）

会 場 国立京都国際会館

参加者 65名

出演者 芸妓1名、舞妓2名 計3名

- (2) おおきにパーティー
実施日 平成28年11月26日(土)
会場 京都ホテルオークラ
参加者 228名
出演者 合計21名(芸妓7名、舞妓14名)
- (3) はんなりの発行
VOL.29(平成28年秋号)、VOL.30(平成29年春号)
- (4) お茶屋の紹介・芸妓舞妓派遣
お茶屋の紹介(27件)
芸舞妓派遣等(9件)
・桂川イオン2周年記念イベント(10月9日)
・結婚披露宴(6月11日・9月4日・10月29日・11月23日)

その他事業

I. 後継者募集

伝統伎芸の後継者である舞妓の募集を行うためホームページで告知し、希望者に対しては資料の配布や説明を行い、応募者を各歌舞会に紹介した。(紹介件数:6件)

II. ギオンコーナー改修(新規)

1 ハード面・ソフト面の改修

財団創立20周年記念事業の一環として、ハード面、ソフト面ともにギオンコーナーの改修を行った。

(1) 劇場の改修工事

座席数増加(171席→197席)、檜舞台の新設、館内照明のLED化、楽屋の改修等を行い、観客、出演者共に利用しやすい環境を整備した。

- ①総工事費 177,552,000円(税込)
- ②改修期間 平成28年12月1日～平成29年3月8日
- ③施工業者 株式会社大林組

(2) ギオンコーナーオリジナルアプリの制作

ギオンコーナーのお得な情報やオリジナル壁画がダウンロードできるオリジナルアプリを、日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、簡体字、繁体字、韓国語、タイ語の12カ国語で制作した。

(3) ギャラリーの充実

「ほんまもん」をテーマにギャラリーを一新し、舞妓の帯・簪・履物などの実物の展示や、五花街の沿革・舞踊公演の紹介を行うとともに、京都伝統産業ふれあい館の協力を得て、清水焼や京漆器の伝統工芸品の展示を行った。

また、ギャラリー内にカラーバーコードを設置し、オリジナルアプリ内の専用カメラを通じて、展示品の詳細説明が母国語で自身の携帯端末に表示されるシステムを構築し、情報発信の充実を図った。

(4) デジタルサイネージ（55インチ）の設置

ギオンコーナーのギャラリーに1台、エントランスに2台のデジタルサイネージを設置した。

ギャラリーのデジタルサイネージでは、花街の文化や舞踊公演の映像を放映し、動画を通じて花街の伝統文化や伝統伎芸の魅力を発信した。

また、エントランスのデジタルサイネージでは、多数の来場者に公演内容を分かり易く紹介するため、演目の動画を流すとともに公演情報を日英の2カ国語で表示した。

(5) Web コンテンツの充実

従来のホームページのリニューアルを行い、日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、簡体字、繁体字、韓国語に、新たにタイ語を加え、合計12カ国語で発信した。

また、訪日旅行中でも自身の携帯端末でホームページが閲覧できるようにスマートフォンサイトを12カ国語で新たに制作した。

(6) Wi-Fi 設置

来場者がギオンコーナーの演目などの写真や動画を快適に SNS などに投稿し、より多くの新鮮な情報がシェアできるように、無料 Wi-Fi の設置を行った。

2 国土交通省による補助金の受給

デジタルサイネージの設置やホームページなどの多言語化が、国土交通省観光庁が実施する「地方での消費拡大に向けたインバウンド対応支援事業」に適合しているとして補助金を受給した。

(1) 訪日外国人旅行者受入基盤整備事業補助金

補助金：1,333,333円

補助対象内容：デジタルサイネージの設置、日英併記パネル制作費

(2) 訪日外国人旅行者受入加速化事業補助金

補助金：4,118,398円

補助対象内容：ホームページリニューアル制作費
スマートフォン対応サイト制作費
カラーバーコード制作費

3. ギオンコーナーリニューアルオープン内覧会の開催

ギオンコーナーリニューアルオープンの前日に財団関係者や行政、報道関係者などを招いて、内覧会を実施した。

(1) 開催日時 3月16日(木) 13時～15時

(2) 内 容 第一部 内覧会

第二部 祝舞・主催者挨拶・来賓祝辞 他

第三部 ギオンコーナー演目鑑賞

(3) 参加者数 167名